

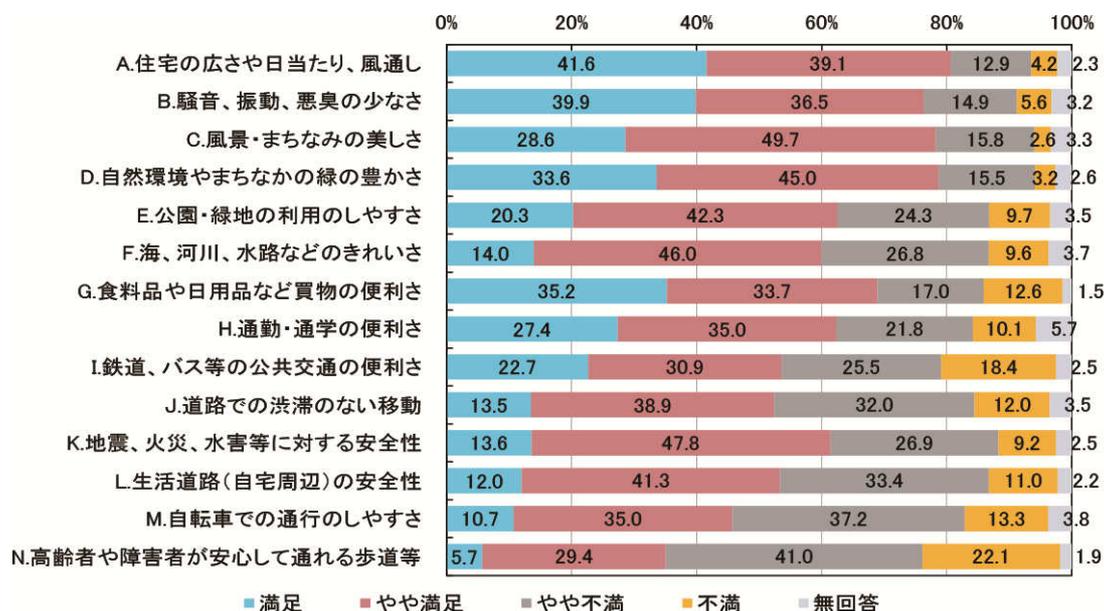
# 姫路市のまちづくりに関するアンケート結果 概要版

都市計画マスタープランの改定に市民の意見を反映するため、令和4年12月から令和5年1月にかけて、姫路市のまちづくりに関するアンケート（18歳以上の市民3,000人を無作為抽出、有効回収率43.2%）を実施しました。

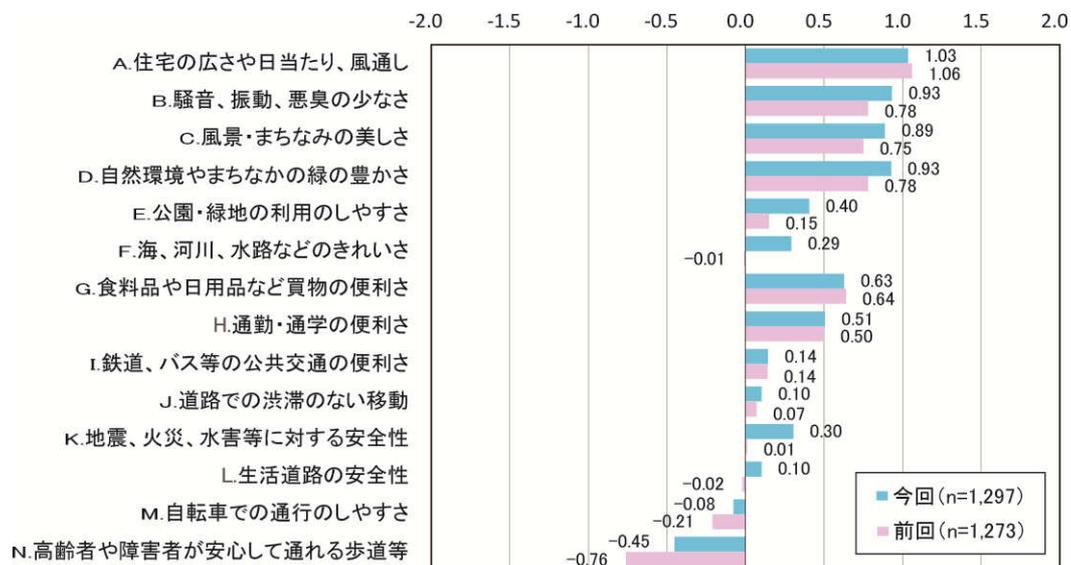
## (1) 住みやすさの満足度

問:お住まいの地域の住みやすさについて、どのようにお考えですか。

- ・「高齢者や障害者が安心して通れる歩道等」や「自転車での通行のしやすさ」など、安全・安心に対する満足度が低くなっています。
- ・家島・夢前・安富地域などの郊外部では、安全・安心に加えて、公共交通の便利さや買物の便利さなど、利便性に対する満足度が低くなっています。



## ■ 住みやすさの満足度の評価点

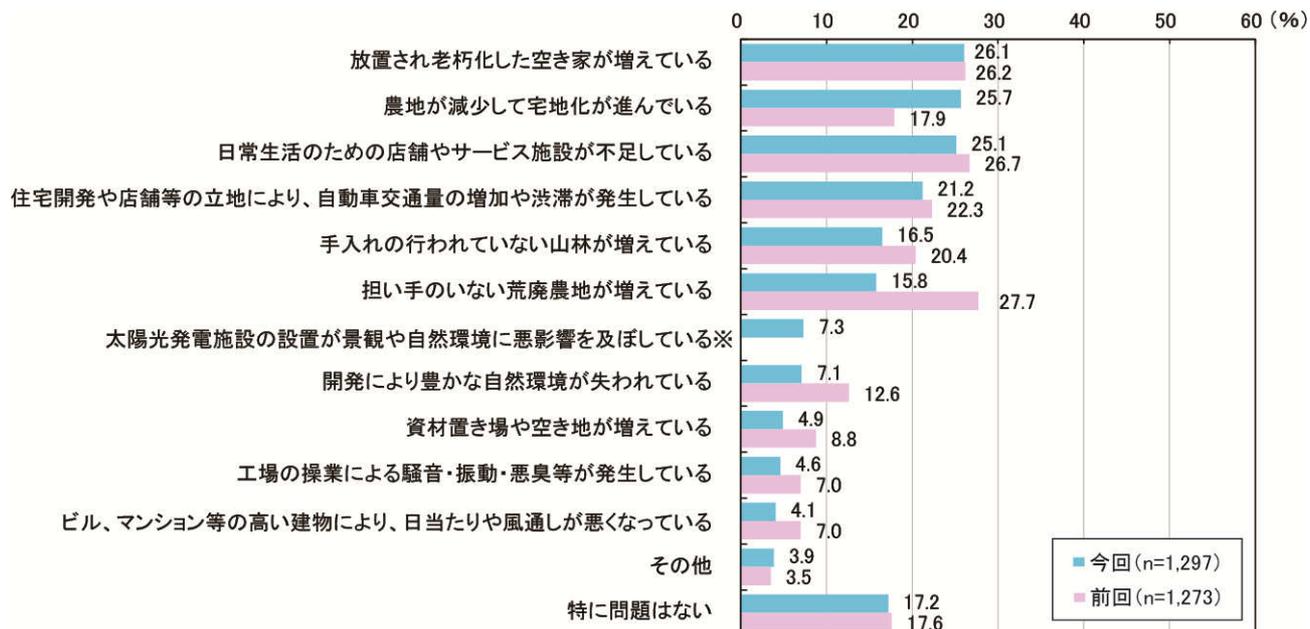


注：満足度の評価点 = (満足 × 2点 + やや満足 × 1点 - やや不満 × 1点 - 不満 × 2点) ÷ (回答者数 - 無回答)

## (2) 土地利用の問題点

問：お住まいの地域の土地利用について、どのような問題がありますか。【複数回答】

- ・ 放置空き家の増加が全市的な問題になっていることに加え、家島・安富・夢前地域などの郊外部においては、日常生活に必要な施設の不足や、農地や森林の管理水準の低下が問題となっています。



注：※印の選択肢は今回調査で追加したもの

### ■ 地域別にみた土地利用の問題点 [上位2項目]

	1位	2位
中部第一	住宅開発や店舗等の立地により、自動車交通量の増加や渋滞が発生している : 25.6%	放置され老朽化した空き家が増えている : 24.8%
中部第二	農地が減少して宅地化が進んでいる : 33.1%	住宅開発や店舗等の立地により、自動車交通量の増加や渋滞が発生している : 26.4%
網干	放置され老朽化した空き家が増えている : 27.4%	住宅開発や店舗等の立地により、自動車交通量の増加や渋滞が発生している : 24.8%
広畑	農地が減少して宅地化が進んでいる : 41.0%	住宅開発や店舗等の立地により、自動車交通量の増加や渋滞が発生している : 29.1%
飾磨	農地が減少して宅地化が進んでいる : 34.6%	住宅開発や店舗等の立地により、自動車交通量の増加や渋滞が発生している : 32.3%
灘	放置され老朽化した空き家が増えている : 37.6%	農地が減少して宅地化が進んでいる : 29.4%
東部	農地が減少して宅地化が進んでいる : 42.7%	住宅開発や店舗等の立地により、自動車交通量の増加や渋滞が発生している : 26.0%
北部	日常生活のための店舗やサービス施設が不足している : 35.2%	放置され老朽化した空き家が増えている : 33.3%
西部	日常生活のための店舗やサービス施設が不足している : 26.6%	手入れが行われていない山林や原野/担い手のない荒廃農地が増えている : 25.7%
番寺	担い手のない荒廃農地が増えている : 27.4%	住宅開発や店舗等の立地により、自動車交通量の増加や渋滞が発生している : 24.7%
家島	放置され老朽化した空き家が増えている : 63.2%	日常生活のための店舗やサービス施設が不足している : 57.9%
夢前	手入れが行われていない山林や原野が増えている : 62.7%	日常生活のための店舗やサービス施設が不足している : 49.3%
安富	担い手のない荒廃農地が増えている : 57.8%	手入れが行われていない山林や原野が増えている : 51.1%

### (3) 住み替えの意向

問：現在の住まいからの住み替えを考えていますか。

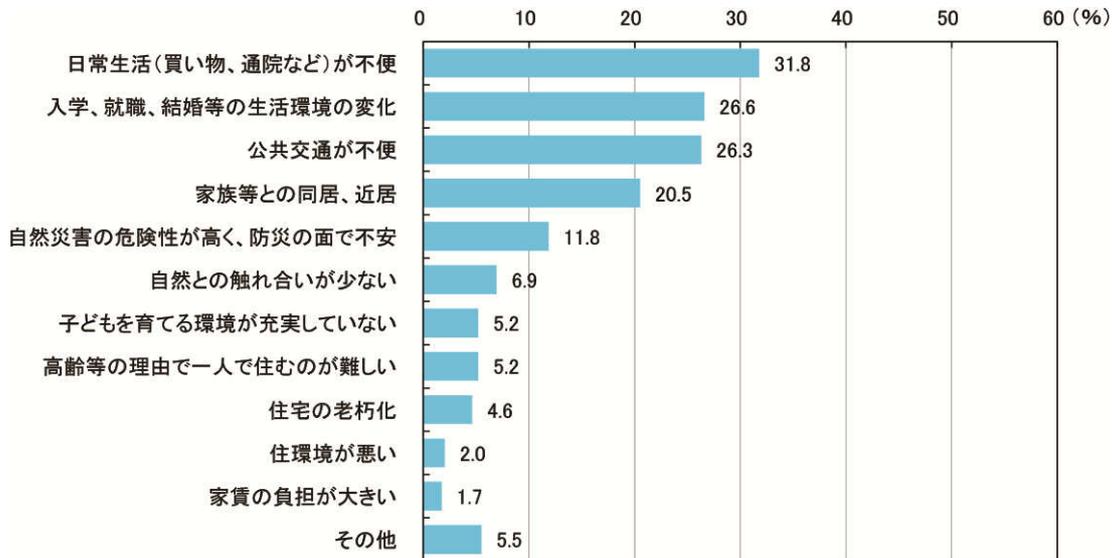
- ・高齢の世代ほど「住み替えは考えていない（このまま住み続けたい）」が高くなる傾向にあるものの、70歳以上の約2割が住み替えを考えて（希望して）います。



- 住み替えは考えていない(このまま住み続けたい)
- できれば住み続けたいが、いずれ住み替えないとはいけなくなると思う
- 具体的な予定はないが、住み替えを希望している
- 具体的な住み替えの予定がある
- その他
- 無回答

問：住み替えの理由は何ですか。【複数回答】

- ・「日常生活（買い物、通院など）が不便」が最も高く、70歳以上の4割以上を占めています。



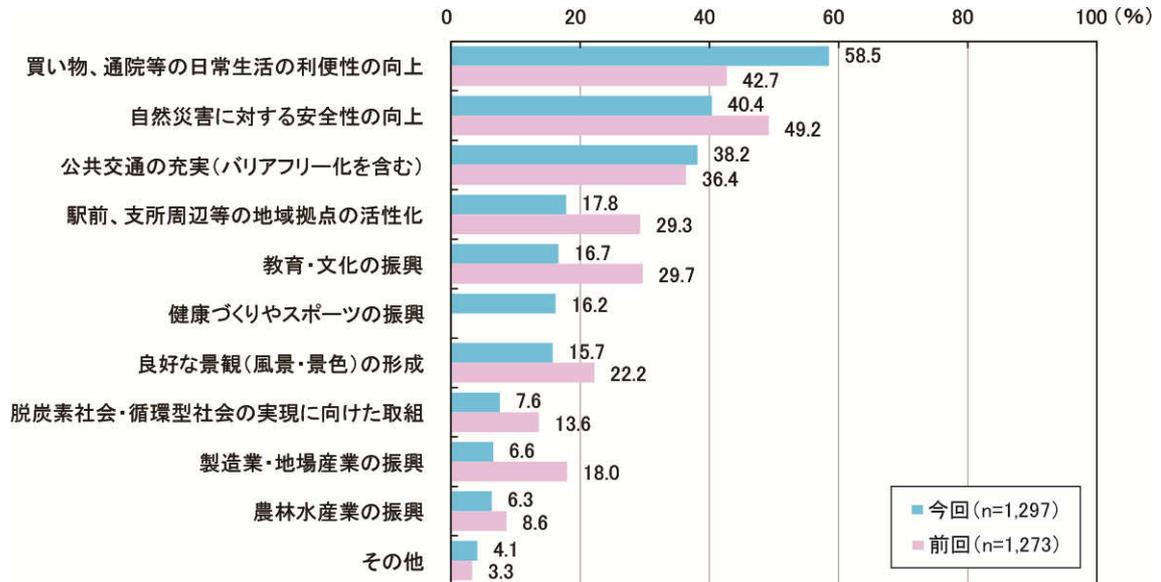
#### ■ 年齢別にみた住み替えの理由 [上位2項目]

	1位	2位
18～29歳	入学、就職結婚等の生活環境の変化 : 64.3%	家族等との同居、近居 : 17.9%
30～39歳	入学、就職結婚等の生活環境の変化 : 46.9%	公共交通が不便 : 28.6%
40～49歳	入学、就職結婚等の生活環境の変化 : 50.0%	日常生活(買い物、通院など)が不便 : 26.8%
50～59歳	日常生活(買い物、通院など)が不便 : 27.4%	公共交通が不便/家族等との同居、近居 : 22.6%
60～69歳	日常生活(買い物、通院など)が不便 : 39.3%	公共交通が不便 : 31.1%
70歳以上	日常生活(買い物、通院など)が不便 : 44.3%	公共交通が不便 : 29.5%

#### (4) 今後のまちづくりの重点的な取組

問：今後のまちづくりにおいて、どれに重点を置くべきと思いますか。【複数回答】

・「買い物、通院等の日常生活の利便性の向上」「自然災害に対する安全性の向上」「公共交通の充実（バリアフリー化を含む）」が重視されています。

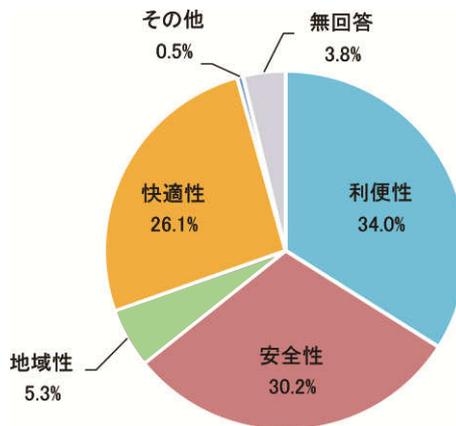


注：前回調査の選択肢「教育・文化の振興や健康づくり」を今回調査では「教育・文化の振興」「健康づくりやスポーツの振興」に変更

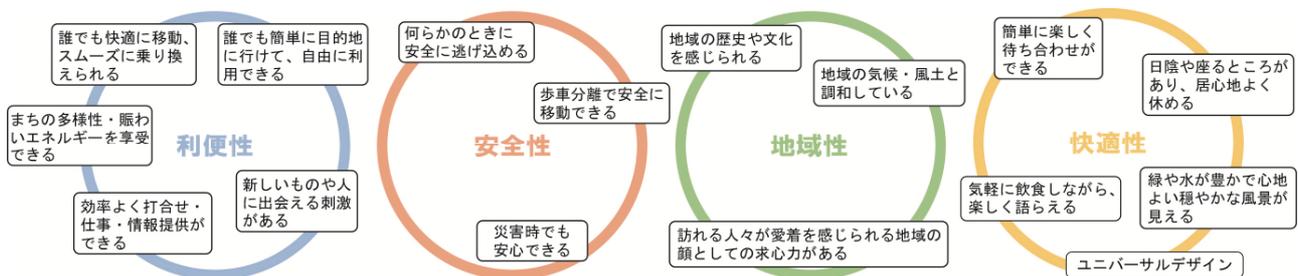
#### (5) 姫路駅周辺のまちづくり

問：「居心地が良く歩きたくなる」空間づくりにおいて、特に重視すべき事項は何ですか。

・「地域性」よりも「利便性」「安全性」「快適性」を重視される人が多く、「利便性」が最も高くなっています。



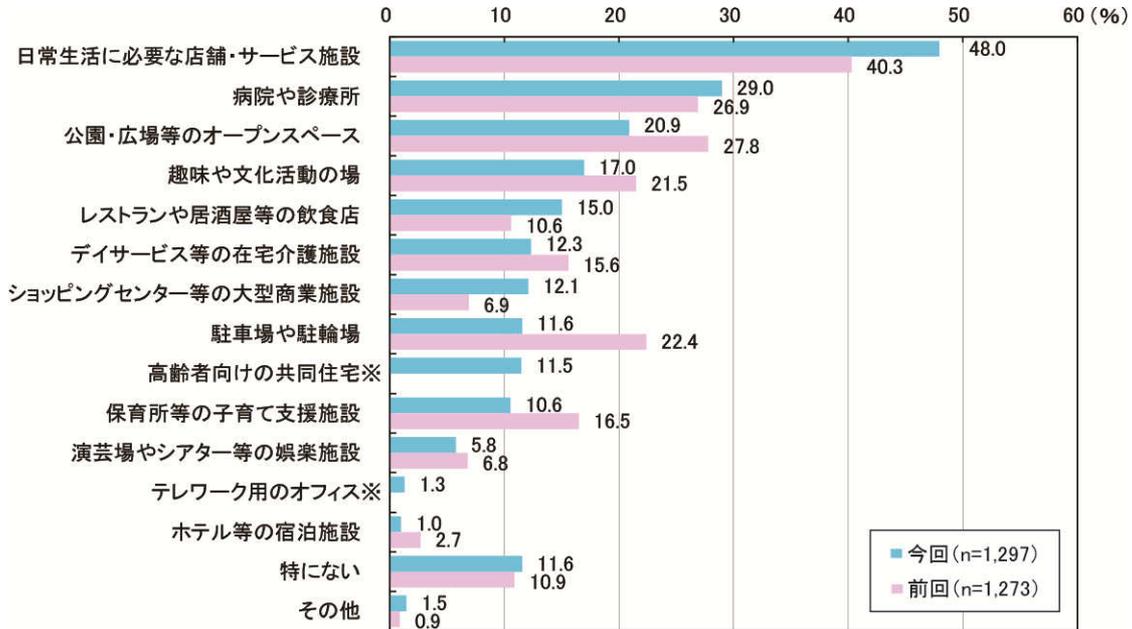
#### ■ 姫路駅周辺における空間づくりのイメージ



## (6) 地域の拠点づくり

問：地域の拠点（鉄道駅や支所・地域事務所の周辺）にはどのような施設が必要ですか。【複数回答】

・「日常生活に必要な店舗・サービス施設」「病院や診療所」「公園・広場等のオープンスペース」が求められています。

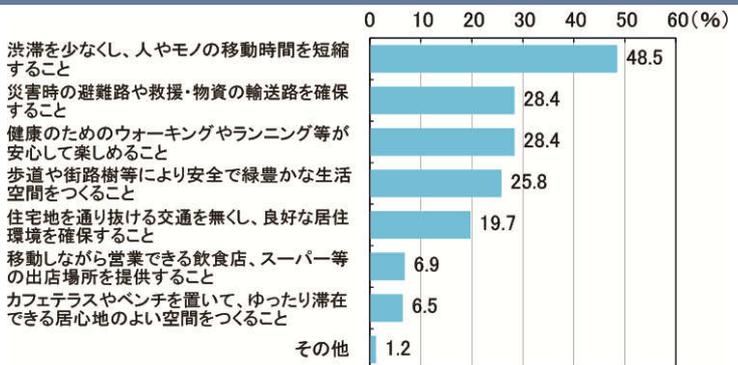


注：※印の選択肢は今回調査で追加したもの

## (7) 道路・公園

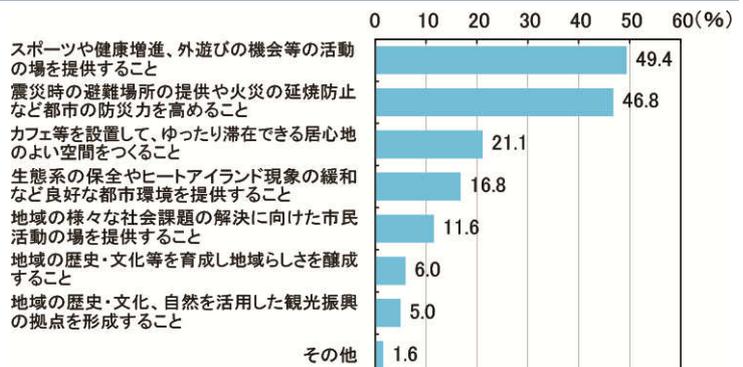
問：道路に期待する役割は何ですか。【複数回答】

・「渋滞をなくし、人やモノの移動時間を短縮すること」「災害時の避難路や救援・物資の輸送路を確保すること」「健康のためのウォーキングやランニング等が安心して楽しめること」「健康のためのウォーキングやランニング等が安心して楽しめること」が求められています。



問：公園に期待する役割は何ですか。【複数回答】

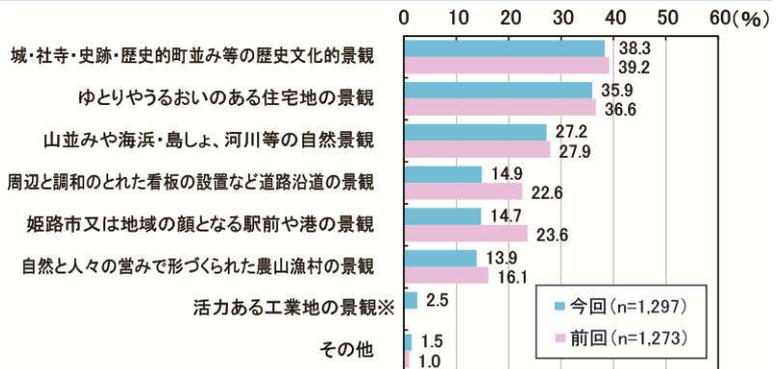
・「スポーツや健康増進、外遊びの機会等の活動の場を提供すること」「震災時の避難場所の提供や火災の延焼防止など都市の防災力を高めること」「カフェ等を設置して、ゆったり滞在できる居心地のよい空間をつくること」が求められています。



## (8) 景観

問:お住まいの地域にふさわしい景観を形成するために、大切にしたい景観は何ですか。【複数回答】

・「城・社寺・史跡・歴史的町並み等の歴史的文化的景観」「山並みや海浜・島しょ、河川等の自然景観」「ゆとりやうまいのある住宅地の景観」となっています。

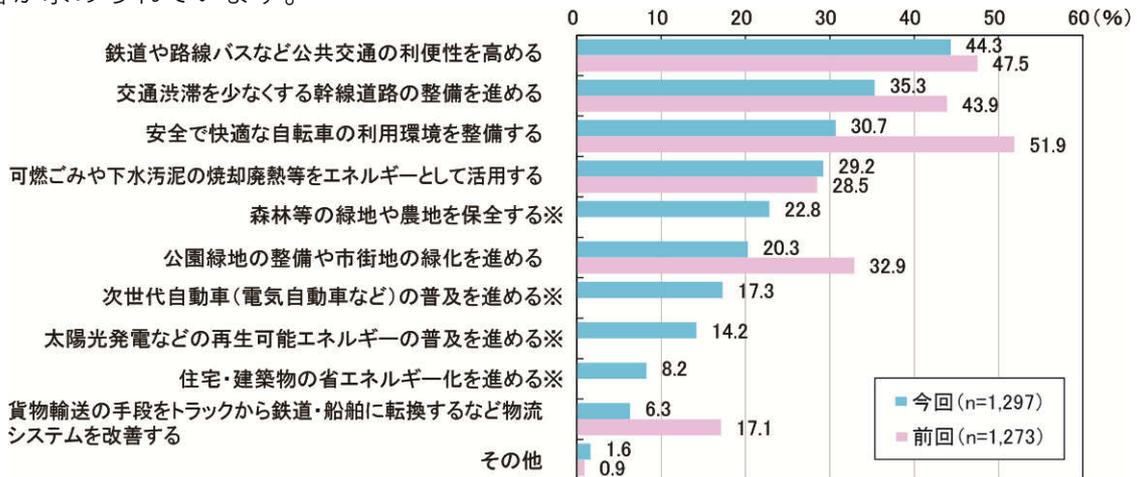


注: ※印の選択肢は今回調査で追加したもの

## (9) 環境・エネルギー

問:脱炭素社会に向けたまちづくりを進めるために、重要だと思うことは何ですか。【複数回答】

・「鉄道や路線バスなど公共交通の利便性を高める」「交通渋滞を少なくする幹線道路の整備を進める」「安全で快適な自転車の利用環境を整備する」が重視されており、交通環境の改善が求められています。

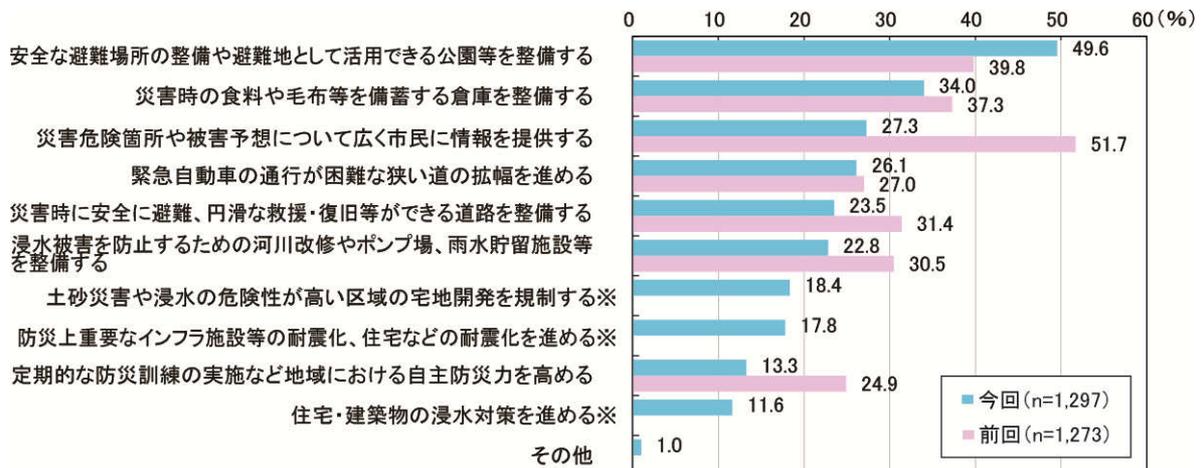


注: ※印の選択肢は今回調査で追加したもの

## (10) 防災

問:災害に強いまちづくりを進めるために、重要だと思うことは何ですか。【複数回答】

・「安全な避難場所の整備や避難地として活用できる公園等を整備する」「災害時の食料や毛布等を備蓄する倉庫を整備する」「災害危険箇所や被害予想について広く市民に情報を提供する」が重視されており、ソフト対策を含めた取組が求められています。

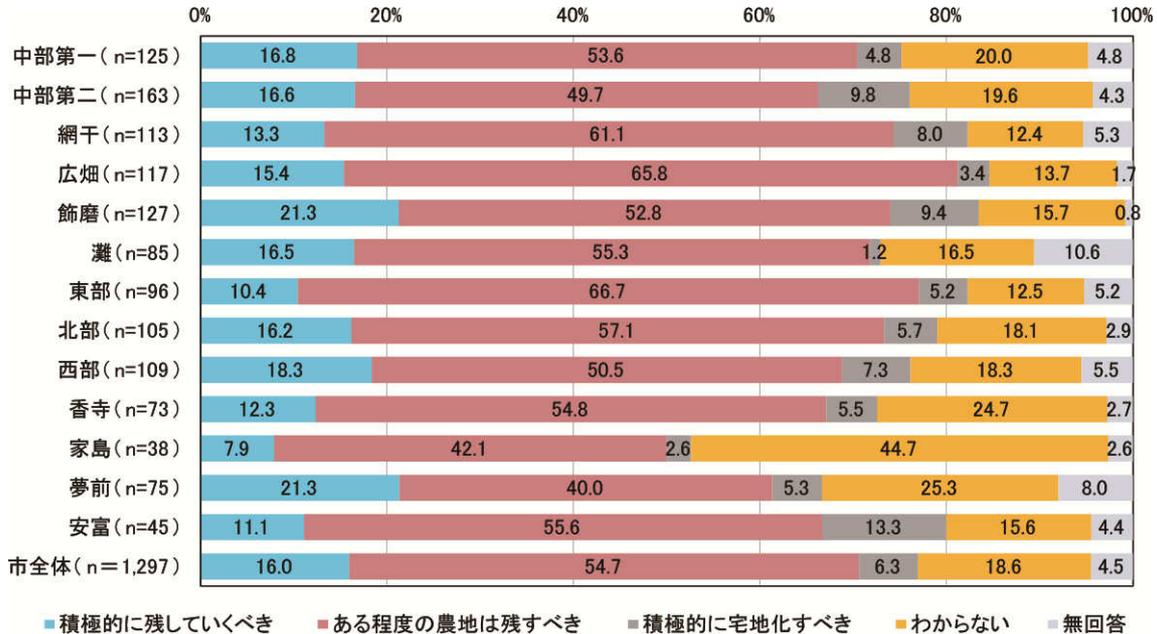


注: ※印の選択肢は今回調査で追加したもの

## (11) 都市と農の共生

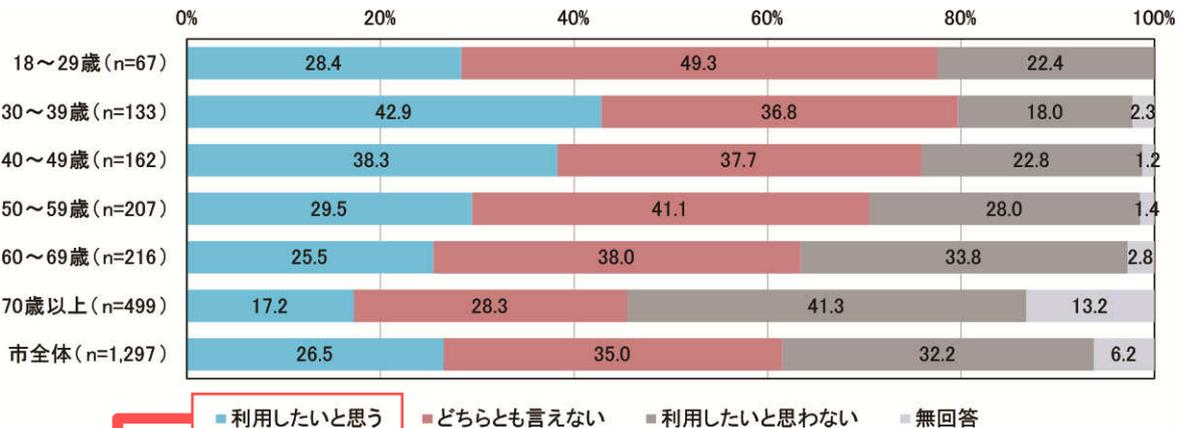
問：市街化区域内農地のあり方について、どのようにお考えですか。【複数回答】

- ・市街化区域内農地のあり方について、残すべきとする回答が7割を占めています
- ・市街化区域が設定されている網干・広畑・飾磨・灘・東部・北部地域等において、市街化区域内農地を残すべきの回答割合が市全体を上回っています。



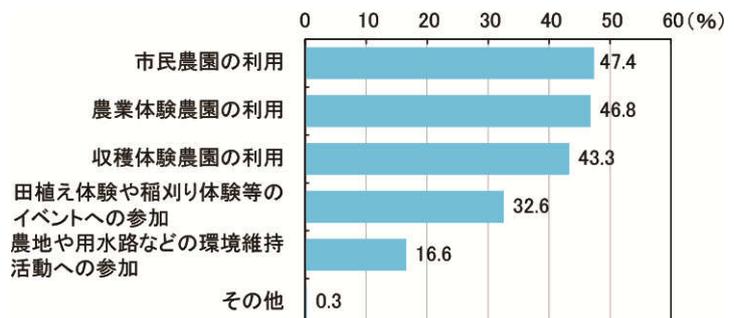
問：市街化区域内農地が農業体験の場として提供される場合、利用したいと思いますか。

- ・市街化区域内農地が農業体験の場として提供される場合、利用したいと思います人は26.5%となっています。30・40代では利用したいと思います人の割合が4割前後を占めています。



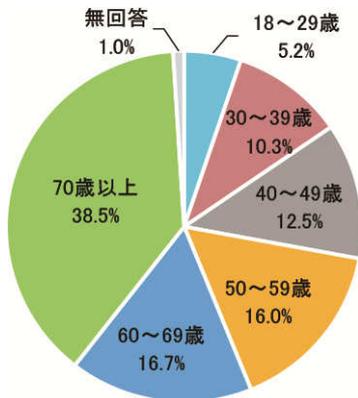
問：どのような形の農業体験をしたいと思ますか。【複数回答】

- ・「市民農園の利用」が最も高く、次いで「農業体験農園の利用」「収穫体験農園の利用」となっています。

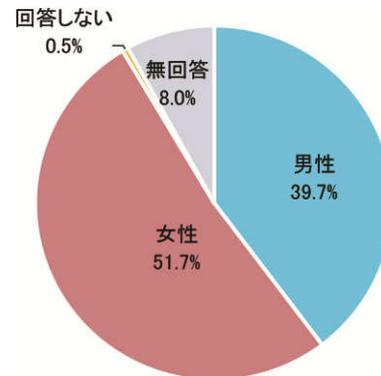


## (12) 回答者の属性

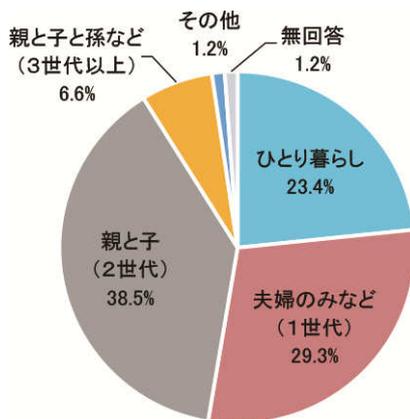
■ 年齢



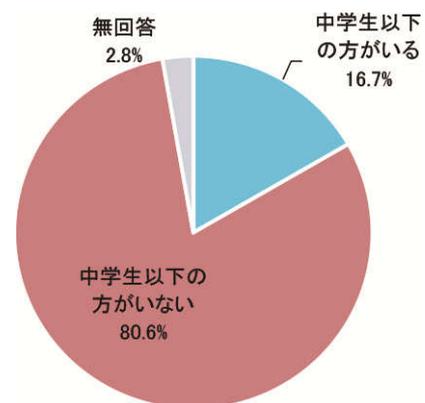
■ 性別



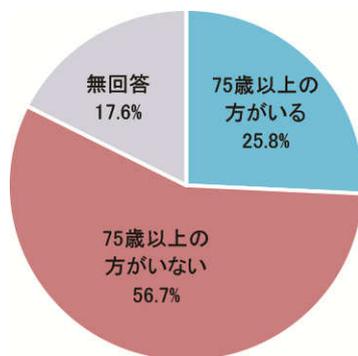
■ 家族構成



■ 中学生以下の方の有無



■ 75歳以上の方の有無



■ 居住地域

